

子どもの健全育成と、SDGsの目標のうち『貧困をなくそう』『すべての人に健康と福祉を』『質の高い教育をみんなに』の実現に資する活動への支援

「子どもを虐待してしまう親の回復のためのプログラム実施」事業

虐待に走ってしまう親の行動変容を促し、より良い親子関係に再構築に寄り添う活動

令和3年度の児童相談所での児童虐待相談対応件数は207,659人と過去最高を更新した。令和4年の改正児童福祉法には、虐待で分離した親子の再統合に向けた保護者支援プログラム提供が都道府県等の事業として明記された。児童虐待防止には、虐待する親と関わる専門性の高い人材育成や有効性の高いプログラムが効果を上げている。



POSCの助成を活用し開設したホームページ

子どもを虐待してしまう親の回復を目指す効果的なプログラムを実践

「グループ・ナイス」は、2013年に児童福祉分野で働いていた有志が立ち上げた団体である。子どもが家庭において安心して健康に育つことができるよう、その手助けを目的に事業を運営してきた。特に虐待防止に力を注ぎ、子どもを虐待してしまう親の回復のためのプログラム「MY TREE 親プログラム」を団体の設立当初から実施している。一般的に子どもの虐待が起きたとき、危険から守るため、子どもは児童相談所が保護する。子どもが施設や里親のもとで暮らす間、親は児童相談所との面接で対話したり、カウンセリングを受けさせられたりする。しかし、子どもを児童相談所に奪われたという怒りでいっぱい親は、何とか早く子どもを奪い返そうとする。その結果、児童相談所と

の間に信頼関係が築けず、親は適切な学習や治療を受けられないまま、行政を拒絶し続けるケースが少なくない。そうした親たちの行動変容を促し、親子の関係を再構築するためのプログラムが、「MY TREE 親プログラム」である。同プログラムでは、「暴力とは、これまで人として尊重されなかった痛みや悲しみを怒りの形で爆発させている行動」ととらえ、加害親の回復支援を中心に組み立てられている。罪を糾弾するだけでは、虐待は無くならない。加害親の心に寄り添い、回復の道をゆっくり伴走することが必要である。なお、同プログラムを実施するには100時間の研修が必要であったが、当初、その研修は関西で行われていなかったため、当団体のメンバーは毎週のように新幹線で関西に通い、実施の資格を得た。

5名の親が参加して行われたグループセッションや個人面談

現在、「MY TREE 親プログラム」の実践を積み重ねる一方、同プログラム受講後のアフターケアとして、個別のカウンセリングや子育て講座も実施している。2022年度には、POSCの助成を受け、ホームページを開設し、同プログラム修了者のみでなく、一般の子育て中の女性や、子ども自身からの相談にも乗れるような態勢を整えつつある。

2022年度、POSCの助成を活用し、9月7日～12月14日（毎週水曜日、10:30～12:30）にかけて同プログラムを実施した。5名の参加者は、児童相談所や子ども家庭支援センター等から委託されたケースと、親自身が受講したいとアクセスしてきたケースの2通りがあったが、インテークを行い、プログラム受講が有効だと判断した人に参加してもらうことにした。

全13回のグループセッションと3回の個人面談を実施し

たが、1回2時間のグループセッションでは、前半の1時間で自分を振り返ったり、子育てスキルを学んだりしたあと、後半の1時間で自分について一人ずつ話をしてもらった。

参加者を委託した児童相談所等とは連絡を取り合い、生活の変化や子どもの安全を確認しながらプログラムを進めた。また、プログラム終了後は、必要に応じて別の子育てプログラムを紹介したり、カウンセリングにつなげたりした。

同プログラムでは、毎回、開始前と終了後に参加者にアンケートを取っているが、プログラムに参加することによって体罰容認、被害感情、悲観的思考、感情コントロール困難、孤立感、不自信、身体的虐待などが軽減されている。

こども家庭庁の新設により、ますます虐待防止への有効な手法が必要になるが、同プログラムはエビデンスのある手法として今後、益々注目されることを期待する。



「MY TREE 親プログラム」や同プログラム受講後のアフターケアとして、個別のカウンセリングや子育て講座も実施



助成団体:グループ・ナイス

<https://www.groupnis2013.com/>



子どもたちが虐待のない世の中で安心して育っていける社会を目指して

児童虐待防止事業は、親子のあり方にとずっと伴走し続ける終わりの見えない事業です。すぐに効果が出ないことに加え、加害者向けの事業であることから、助成は受けにくく、コロナ禍になってからは「本当にやっていけるのだろうか?」と不安になる日々でした。今回、助成していただいたことで、事業継続の背中を押していただけたと感謝しています。

グループ・ナイス
臨床心理士 澤谷 厚子さん